



令和7年度 学校経営方針

北九州市立塔野小学校
校長 安西 大輔

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら学び、健康でたくましく生きる子どもの育成

学校経営の基本方針・・・未来をひらく子どもの育成

加速度的に変化する現代社会の中で、変化に対し柔軟に対応する力が求められる。そのためには、自ら問いを見付け、モノを活用しながら、チームで最適解を創り上げる能力が必要である。子どもも教職員も変化をおそれず、前向きな姿勢で成長する姿勢をもたせたい。

〈目指す学校像〉	〈目指す児童像〉	〈目指す教師像〉
誰もが「楽しい」を感じられる学校 児童にとって …児童にとって毎日が楽しいと感じられる学校 保護者にとって …子どもの成長している姿が見られ、安心して任せられる学校 教職員にとって …ワークライフバランスを充実させ、楽しく教育ができる学校	「楽しい」を ①見付ける、②増やす、③広げる 【4つのだいじ】 あいさつはだいじ ともだちはだいじ そうじはだいじ チャレンジはだいじ	○ 夢と目標をもち未来にワクワクする（キャリアデザイン） ○ ハッピーエンドのドラマチックな毎日を楽しむ（ワークライフバランス） ○ 失敗をおそれず挑戦し、自分の強みを発揮する（授業改善・危機管理対応） ○ 自分とまわりを大切にし、みんなが幸せな状態になる（ウェルビーイング） ○ いつも目をきらきらさせ、笑顔と真剣な表情で学ぶ（キャリアアップ）

〈具体的方策〉スクールプラン・自己申告書・部会運営等の一貫性

（１）心の育ちの推進 ① 居心地のよい学習・生活環境づくり ○ 自分から進んでするあいさつ ○ お互いに高め合えるともだち ○ 美しい教室、美しい学校づくり ○ 失敗から学ぶ成功体験の積み重ね ○ 「とうのっ子 よい子のくらし」の周知 ※カウンセリングマインド（受容・傾聴・共感）による日常の関係づくり ② 子どもの活躍の場の設定と評価 ・教育活動全体において児童の活躍する機会を増やし、自己肯定感を高めさせる。 ③ 人や地域を大切にしている指導の充実 ・35時間の道徳科の授業の確実な実施 ・早期発見・早期解決（心のアンケート） ・地域の人的物的資源を生かす教育活動や人権を大切にしている子どもの育成 ・よいところみつけ・ふわふわことば ・「新版いのち」・「北九州道徳郷土資料」 ・人権教育ハンドブック・同和教育 ④ ソーシャルスキルの養成 「北九州市子どもつながりプログラム」	（２）確かな学力の向上 ① 学びの基盤となる学習規律の徹底 ② 教科等学習の時間・内容の確実な確保 ③ 確かな学力の向上を図る楽しい授業づくりの研究と実践（主題推進） ④ 「言葉の力」を高める学習活動の推進 ・教科等で書く・話す（表現）時間の確保 ・音読「ひまわり」・学校図書館の活用 ⑤ 校時表の工夫と開始・終了時間の遵守 ・朝の時間の統一指導・専科指導の充実 ⑥ 家庭学習の充実 低学年30分、中学年45分、高学年60分 ・基礎・基本の定着のための宿題 ・ひまわり学習塾（4年生希望者） ⑦ 教職の専門性を高める研修の充実 ・授業改善へ向けた校内授業研究 ・先輩の授業見学・持ち合い授業 ・学校マネジメント支援訪問の活用 ⑧ ICTの効果的な活用 ・授業における積極的活用（デジタル教科書・学習ソフト・資料の提示・考えの共有） ・個に応じた個別最適な学びと協働的な学びの推進	（３）健やかな体の育成 ① 命・安全に関する教育 ・避難訓練（防災教育プログラムの活用） ・防犯教室、交通安全教室、自転車教室等 ※レジリエンス力（困難な状況にも耐えられる心）の向上 ② 体力向上を目指した授業等の工夫（特別教室使用割の工夫、運動量の確保） ・楽しい体育科授業の実践（体育すきっちゃプログラム） ・主運動につながる準備運動の工夫 ・達成目標を意識した新体力テスト ・なわとびタイムなどの業間体育 →運動の日常化を目指す ③ 望ましい生活習慣の定着 ・体育科保健学習や学級活動・保健指導 ・けがの防止→病院受診の減少 ④ 食育の指導計画に沿った教育活動 ・給食を時間内に食べる ・食物アレルギー対応給食の安全実施 ⑤ 感染症予防の徹底 ・流行時には密閉・密集・密接を避ける生活・授業
（４）特別支援教育の充実 ・校内支援体制の充実と関係機関との連携 ・個別の指導（教育支援）計画に基づいた適切な指導及び支援 ・効果的な通常学級交流の計画と連携 ・特別支援教育の視点を生かしたユニバーサルデザインの授業・環境づくり	（５）いじめ、長欠・不登校対策 ・生徒指導部を核とした体制づくり ・報告・連絡・相談・確認・記録の徹底 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応、積極的認知、保護者への連絡の徹底 ・中1ギャップの解消（校則の見直し） ・SC・SSW等関係機関との連携	（６）業務改善の推進 ・ICT活用による業務の効率化と縮減 ・全体2回、学年2回の月4回定時退校日 ・授業準備時間の確保（給食後下校の日） ・留守電時間（17時30分～8時00分） ・カリキュラムマネジメント研修の充実 →効果的・弾力的な教育活動の実施 ・共同学校事務室の活用

〈参考資料〉 ※令和6年度より継続

【「わかる授業づくり」5つのポイント】 ⇨ 【「学びの質を高める授業」づくり 5つのポイント】

- 1 「学び合いの基盤」
- 2 板書には必ず「めあて」、「まとめ」と「振り返り」
- 3 子どもの思考を深める「発問」の工夫
- 4 1時間の中に「話し合う活動」と「書く活動」
- 5 終末5分の「まとめ」と「振り返り」

- 1 学び合いの「質を高める」基盤づくり
- 2 めあての設定は「子どもと一緒に」
- 3 「問い」と「気付き」を促す発問
- 4 「考えを深める」話し合う活動と書く活動
- 5 まとめと振り返りは「子ども自らの言葉で」

【全職員で共通理解して取り組むこと】… 規律の保たれた塔野小学校であるために

- ① 時間割を守り、授業の始業・終業をできる限り時間通りに指導を進める。
 - ・ 直前になっての変更がないよう、少人数指導や専科指導、英語科などの外部講師、学校行事等による時間割調整を前の週には確定し、児童が見通しをもち、落ち着いて学習できるようにする。
- ② 学校生活のきまりについては、どの教師も同じ意識で指導する。
 - ・ 小さな規律の乱れを見逃さず、学習規律を確立することが学力向上につながる。
 - ・ 分かっていること、できることをきちんとする。分かっている子、できていない子をみんなで努力中の子にしよう。
 - ・ おとなしく目立たないが、まじめに学習に取り組む子どもの学習意欲・態度を大切にする。
 - ・ 秩序を維持するには、根気よく、長期的に、全職員が同じ意識をもって指導し続けることが大切。
適切な承認欲求の充足 ～ 望ましくない言動は相手にしない。望ましい言動を称賛。
既にできていることも、定期的に再確認・価値付けを行い、評価してあげることが大切。
- ③ 子どもの問題行動に対しては、原則として即時対応する。
 - ・ 子どもからの事実確認も大切であるが、情報の伝達を速やかにする意識を常にもつ。※ 首から上のけがは即時管理職へ報告
 - ・ 問題行動を起こした子に対応する際は、保護者へ連絡し、直接会って説明することを念頭に、安易な私見を入れない。
※ マイナス情報はどいち早く連絡を！
※ 「困った子ども」「困った保護者」→「困っている子ども」「困っている保護者」
- ④ 保護者との連絡を適切に行い、信頼関係を築く。
 - ・ 家庭訪問は、問題行動の時だけと考えない。日頃の様子や努力の連絡が、後に好影響をもたらす。
 - ・ 保護者と話すときは、子どもの長所から話す。そのために、日頃から、子どもの情報を集めておくことが大切。
 - ・ 電話や連絡帳で伝えるだけでは、翌日に状況が一変することが多々ある。※ 悪い情報は、保護者に直接会って伝えること！

【教師として心がけたいこと】

- ① 教育公務員としての自覚と責任を持った行動を…コンプライアンス～服務規律、体罰、会計処理、飲酒運転、個人情報の管理等
- ② 若年教員の力量を向上させる意識を、全職員で共有する。
 - ・ 学校全体で育てる・育ち合う意識をもち、意識的に声掛けを行う。
 - ・ 先輩の授業から学ぶ機会や互いの授業を見合う・創り合う機会を、教科等主任を中心に計画的にもつ。
- ③ 社会人として良識をもって…接遇（児童・保護者・来客・電話等）「対応者は学校の顔」
- ④ 子どもの手本に…時刻・時間、提出物の期限等の厳守、ことばづかい、飲食等の配慮
- ⑤ 危機管理意識をもって…「報告・連絡・相談→報告まで」、来校者への声かけ、個人情報の管理
教室へのスマホ持ち込み禁止、SNSへのアップ禁止

⑤最悪を想定して ①慎重に ③すばやく ④誠意をもって ⑤組織的に

【その他】

- ① 学校予算は市民の血税であることを自覚し、適正な執行に努める。
- ② 学校事故の防止、個人情報の厳重な保管・管理に努める。（職員室の机上整理と施錠）
- ③ 学校から発信する文書（公文書、学年・学級通信等）については、事前に原稿を管理職へ提出し確認を得る。
その後、教頭（校長）に1部提出する。（※文書の提出期限を守る。）
- ④ PTA活動への協力